



図 21.59 手掌足底線維腫症 (palmoplantar fibromatosis)
本例は手掌線維腫症 (Dupuytren 拘縮) なので手指が屈曲拘縮している。



図 21.60 鼻部線維性丘疹 (fibrous papule of the nose)

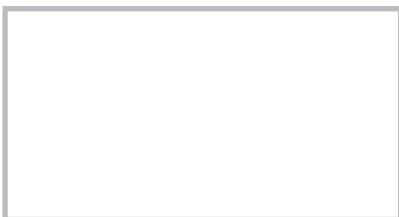


図 21.61 後天性指趾被角線維腫 (acquired digital fibrokeratoma)

治療

初期の病変に対しては、ステロイド外用薬 ODT, 持続的圧迫, ステロイド局注, トラニラスト内服が行われるが, 難治である。病変が高度な場合や機能障害を伴う場合は, 外科的に切除した後上記治療および放射線照射を試みる。

4. 手掌足底線維腫症 palmoplantar fibromatosis ★

手掌または足底の腱膜に硬い索状物が生じる, 手掌腱膜, 足底腱膜の増生による深在性の線維腫症である。進行すると屈曲拘縮をきたして有痛性になる。手掌線維腫症 (Dupuytren 拘縮) は尺側に好発する (図 21.59)。足底に生じた場合は Ledderhose 病^{レダーホース}という。アルコール依存, 糖尿病, てんかん患者に生じやすい。原因は不明であるが約半数に家族歴があり, 遺伝的要因も示唆される。腱膜切除術やリハビリテーションを行う。

5. 真珠様陰茎小丘疹 pearly penile papule

陰茎の冠状溝に 1~3 mm 大のドーム状で白色調の丘疹が列挙性に多発する。いわゆる血管線維腫で, 生理的なものであるため病的意義はない。女性の小陰唇にみるものを陰前庭乳頭症 (vestibular papillae of the vulva) という。尖圭コンジローマ (23 章 p.496) との鑑別を要する。

6. 鼻部線維性丘疹 fibrous papule of the nose

顔面や頸部に単発する, 正常皮膚色から褐色, 紅色で直径 10 mm 以下の硬めのドーム状丘疹 (図 21.60)。病理組織学的に血管線維腫を呈する。

7. 後天性指趾被角線維腫 acquired digital fibrokeratoma

正常皮膚色で弾性硬, 表面に過角化を伴い, ドーム状あるいは円筒状に突起した小結節 (図 21.61)。指趾に好発し, まれに手掌足底に生じる。結節性硬化症 (20 章 p.394 参照) で爪囲に生じたものを Koenen 腫瘍^{ケネン}という。病理組織学的には過角化, 膠原線維と線維芽細胞の増殖, および豊富な小血管を認める。

8. 弾性線維腫 elastofibroma

主に肩甲骨下部に左右両側性にドーム状ないし扁平な盤状の